



東生駒駅のエレベーター等の整備を 近畿日本鉄道(株)と協力して進めます

令和 9 年 3 月末の完成を目指し、さらなるバリアフリー化を推進！

生駒市ではこれまで、鉄道駅におけるバリアフリー化を推進するため、鉄道事業者である近畿日本鉄道(株)と連携しながら、市内の対象駅におけるバリアフリー事業に対し、国や県とともに助成を行ってきました。

この度、近鉄東生駒駅において、課題であった駅構外部でのさらなるバリアフリー化を図るため、エレベーターやスロープ等の整備について、近畿日本鉄道(株)との協議が整ったことから、当該整備事業を進めていきます。なお、本案件は 9 月定例会の追加議案として補正予算案を提出します。

■ 東生駒駅のバリアフリー化の現状

東生駒駅は、1 日の乗降客が約 15,000 人と市内では生駒駅に次いで利用者数が多い主要駅で、駅構内は国が定めるバリアフリーの基準を満たしています。

しかし、駅構外におけるバスロータリーや国道 168 号等の道路部から駅改札に向かう主な経路は階段を利用せざるをえない箇所があり、改善を望む声が近畿日本鉄道(株)や生駒市に対してたびたび寄せられていました。



■ 整備の内容・事業スケジュール

◇概要（次ページ参照）

駅構外のバスロータリー部の歩道から駅改札までのバリアフリー経路として、エレベーターやスロープ等を設け、高齢者や障がい者の方々や妊婦、子育て層など、誰もが安全に移動できる歩行者経路を整備します。

◇スケジュール

令和 9 年 3 月末の完成に向けて、近畿日本鉄道(株)が主体となり、今年度に設計等を進め、令和 8 年度（4 月以降）に工事に着手される予定です。

◇事業規模

約 1 億 8 千万円

（事業費負担：近鉄：1/3、生駒市：2/3（国からの交付金制度による補助あり））

東生駒駅の現状



整備概要



この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市事業計画課（課長 山本） ☎0743-74-1111(内線 2500)